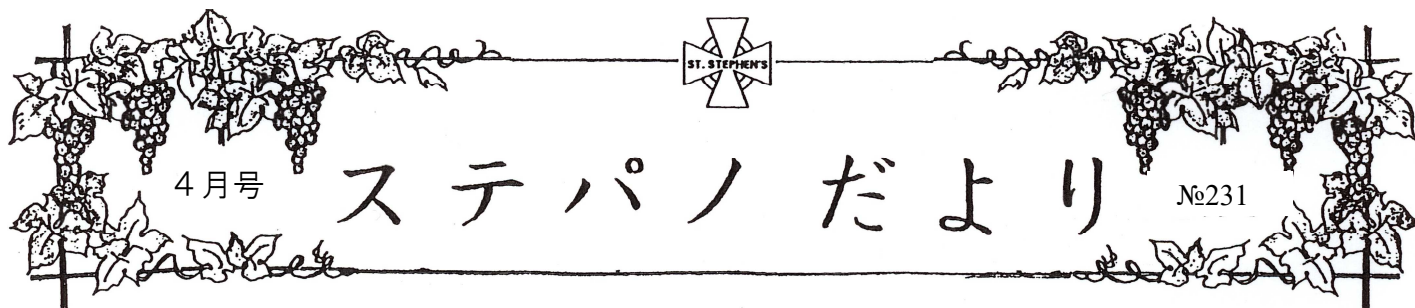




4月号

ステパノだより

No231

今月の聖句

『光の子として歩みなさい。』
エフエソの信徒への手紙 第5章8節

◎4月の予定

8日(月) 入学礼拝式・一学期始業礼拝
9日(火) 給食開始(小2～中3)
10日(水) 身体計測 視・聴力検査(中)
11日(木) 視力検査(小)
12日(金) 聴力検査(小)

新入生歓迎会(中)

18日(木) 学力学習状況調査・教務委員会
19日(金) 午前授業(小)・半日研修会
20日(土) 保護者総会
22日(月) 岩美中学校来校(中)
給食開始(小1)

23日(火) 体力テスト

24日(水) イースター礼拝

新入生歓迎会(小)

25日(木) 体力テスト 予備日

教職員協議会

26日(金) 教職員健康診断

29日(月・祝) 私立中学校進学相談会

◎5月の予定

6日(月・祝)

神奈川県私立小学校フォーラム

9日(木) 心臓病検診(小1・中1)

校内研修会

10日(金) 春の遠足



今月号のこのページは、
今月の聖句と学園行事のお知らせのみの
掲載とさせていただきます。

仲良くすること

学園長 小川 正 夫

「この三十年、平成の時代は戦争がなかった」と皇位の譲位、新しく迎える元号『令和』を前に、平成の時代を振り返って、しみじみと述べられた天皇のお言葉が印象的でした。

明治、大正、昭和の時代は、日清、日露、そして第一次世界大戦、満州事変、第二次世界大戦という様に、国家総力戦で日本が参戦し、多くの人々が傷つき、尊い命を落とし、深い悲しみの中におかれました。

平成の時代は、日本列島では大規模な自然災害が続き、その被害も甚大で、復興にはまだまだ時間を要しますが、日本が戦争に巻き込まれ、参戦することはありませんでした。

新しく迎える時代の元号が「平和へ導く」とも読める『令和』の言葉には希望が感じられ、良い時代になるような気がします。

人の心を大切に想う優しい心を育みたいと私達は常に願っています。学園の設立当時澤田美喜先生は、戦争が齎す惨禍に深く心を痛め、戦争絶対反対を秘めた心を身体全体で行動に移していたことを忘れられません。

優しさの中には強い信念があり、ほのぼのとした温かい心を育むことを願いながらも、温室の中で安心して美しく咲いているだけではなく、社会の風のなかでも確りした花を咲かせる力強さを身に付けさせたいと思います。

「ありがとう」を伝える

教諭 赤田 祐章

私は、「ありがとう」を日常生活の中で使うように努力しています。「ありがとう」を漢字で書くと「有難う」となります。あなたがしてくださったことは有難いことです。と感謝の意を表すためです。心で思っている、声に出して伝えなければ、気持ちには伝わりません。

ふと、「ありがとう」の反対言葉は何かと考えました。すぐに浮かばなかったので調べてみると、「あたりまえ」と出てきました。(浄土真宗本願寺(西)派・立徳寺ホームページ)ドキッとします。

親切にしていた時、「ありがとう」を伝えなければ、「あたりまえ」と思っていることになりそうです。とても横柄な態度で、失礼なことをしているのです。

さて生活の中で、「あたりまえ」と感じていることが、あまりにも多いことに気づかされます。朝を迎えられること。毎日の食事を摂ること。家族や友人と会えること。学べること。これ以外にもたくさんあります。その一つひとつが奇跡であることを思い出します。

今年も、皆様へ感謝の心を持って「ありがとう」を言います。そして「ありがとう」の良さを、子どもたちに伝えていく一年間にしたいと考えています。

新しい世界と一緒に見よう！

教諭 飯田 幸子

小学校で小さな人達と過ごした一年は、あっという間に過ぎてまた新たな年を迎えます。自身にとっては、あっという間ではありませんが、小さな人達の大きな成長ぶりには本当に驚かされた一年間でもありました。

その成長した彼らが昨年度末に、新三年生に「三年生の楽しいこと」を伝える授業をしました。一人ひとりが心をこめて、丁寧に発表しました。新三年生は、お兄さんお姉さんが説明する新しい様々なことに興味津々で、きらきらした目をして聞いていました。そんな彼らと、今年と一緒に活動します。ですから、とても楽しみです。

子ども達の見る「新しい世界」を私も初心に戻り、一緒に体感したいと思っています。

同じことを同じようにやっても、決して同じにはなりません。与えられた場で、新たな気持ちで一緒に「新しい世界」を見ることは、なんと心弾むことでしょう。

新しい体育館棟が完成し、それに伴い職員室の移動があり、自分の持ち物を整理する機会も得ました。まさに学校生活の終活作業のような時を経て、気分も身の回りもスッキリさせました。「新しい世界」を見る旅に、さあ、出発です。

どうぞ今年もよろしく願います。

改めまして新人の飯田です

教諭 飯田 裕美

昨年度、私のステパノ史において初めての国語を担当させて頂きました。長いこと家庭科を担当してきた私にとって、分野が違う教科への挑戦は、楽しみでもあり、正直なところ不安もありました。

しかし、六年生たちとともに同じ時間を過ごし、ともに学んでいく中、毎回の授業を心待ちにするとても素晴らしい日々を送らせて頂きました。子どもたちを始め、先生方、保護者の方々に支えられた素晴らしい一年を過ごすごことができ、心から感謝しております。

そして今年度もまた、再び私のステパノ史において初めての出来事が。小学校五年生の副担任を務めさせて頂くことになりました。

家庭科担当として様々な学年を見させて頂きましたが、一つの学年に入るのは初めてです。知っている、または見たことがある顔だと思いますが、改めまして新人の飯田です。

失敗やつまずき、知らないこと、未知なことで、たくさんあるかと思えます。加えて、悲しいことに初々しさや新鮮さとは無縁ですが、新人として、努力することを忘れず、できることを精一杯頑張らせて頂きたいと思えます。今年度一年間は、更なる学びの年として、子どもたちとともに成長していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

森の美術館

教諭 金阿彌 勉

聖ステパノ学園二年目がはじまります。

一年目の抱負として、「学園内自然環境をより有効に活かせるような『場の設定』を行い、より良い学びの場を提供できるよう、クリエイティブに働いていきます」ということを掲げました。

周りのみなさまのご理解とご協力をいただきながら、畑やいこいの広場(仮称)の開拓、ピザ窯など目に見える形で実現できました。

また、小学校六年生が取り組んだ岩崎山の泥岩での「縄文土器づくり」と、中学校一年生が学園内の自然物を活用して制作した「自分だけの宝物」など、児童・生徒の活動としても取り組むことができました。

中でも、鑑賞授業をもとに国語科三行詩とコラボし、新学習指導要領のめざす姿の一つ『教科等横断的な取組』として実現できた作品を森の中に屋外展示ができ、多くの方にご鑑賞いただける流れができたことは、とてもありがたいことでした。継続した取り組みでさらに充実した展示へと発展させていきたいと考えております。

そして二年目、形になってきたものを生かし、造形活動を通した学びをいかに充実させられるかを考え続けていきます。「森の美術館」とともに見守っていただけたら幸いです。

考え行動する

小学校教務副主任 上戸 基夫

五年ぶりに高学年を担当させて頂くことになり、自分自身心機一転、気持ち引き締まる春を迎えました。

ある時、廊下で給食をこぼした低学年の子どもがいました。そんな時、教室から雑巾とバケツを持ってきて、あつという間に片付けてくれた高学年の子ども達がいました。「ありがとう」と言うと、「当たり前の事をしただけだよ」と何もなくたように教室に戻っていました。

また、初めてお祈りをする転入生が、緊張して途中で止まってしまった時、何も言わずにそっとお祈りを続けた子どもがいました。お祈りをしてくれた子は、普段は友達とあまり関わりを持たない子どもでした。

どちらも簡単な行いの様ですが、子どもたち自身がその場で考え判断して行動したからこそできたことでした。

一人ひとりの価値観が多様化し、判断する力が求められている時だからこそ、集団(社会)の中の個を意識すると共に、その役割への意義を持ち、自己を高めると共に、積極的に他者に関わり、実行に移すことができる。そんな子ども達へと導き支え、自らも高めていくことができる一年間を過ごしていきたいと考えています。

新年度にむけて

教諭 草山 広子

前年度は、元気いっぱいぴかぴかの一年生と一緒に過ごした一年間でした。クラスの目標である「そろう力」「プラスワンの力」「くりかえす力」を合言葉にして、みんなで力を合わせて頑張ってきました。行事や学習など何をするのにも、この三つの目標にこだわりました。

例えば、毎時間の授業の挨拶も「そろう力」を発揮すれば、「これから頑張るぞ」というピンと張った空気が流れます。国語では、詩や絵本を中心に、二学期から毎日のように、五十字から百字程度の文を写し書きしてきました。続けていると色々な気づきがあります。知っていたお話に出会ったり、前後の関係から次の展開を想像したり、点やマル、カギカッコの形を意識したりなど、それぞれ自分だけの発見を楽しんでいました。この「くりかえす力」から生まれる自分だけの発見が「プラスワンの力」に繋がるのだと思っています。

この度完成した新体育館棟の中に図書館が出来ました。窓から入る光と本の匂いに包まれた空間の中で、子どもたちと一緒に想像の世界を広げていきたいと思っています。

今年度は、新二年生の担任となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

新年度の抱負

庶務 小出 初美

今年の一月から、清掃業務で着任しました。学園長を始め、教職員の皆さんがとても温かく、また、子ども達は元気で明るい印象を持ちました。そんな素晴らしい環境の中で仕事ができることに感謝しています。

私は、人の役に立つ仕事に大変やりがいを感じます。学生時代からボランティア活動に進んで参加したり、人の役に立つことの素晴らしさを学びました。

清掃は、決して華やかな職種ではありませんが縁の下の力持ちとして、無くてはならない存在だと思います。

未経験からのスタートになりますが、自分の目標としては、整理・整頓、清潔を実現していくこと。

皆さんが、より気持ちよく学校生活を送れるように校内を綺麗にするように心がけ、スキルと知識の向上に努め貢献できるようにがんばりたいと思います。



新年度の抱負

教諭 根田 栄子

今年度は、三年ぶりに小学校でスタートすることとなりました。小学校四年生の副担任と、小学校の音楽専科を担当させていただきます。

今年度は中学校の授業に関わることができずとても残念ですが、これも神様の大きなご計画と思い、与えられた仕事を頑張つて務めたいと思います。

小学校音楽では、新任の頃の初心に帰り、『音楽大好き！』な子を一人でも増やせるよう、自分自身も授業を楽しみつつ、一年を過ごしたいと思います。そして、月に一度くらいはコンサートにでも行って、音楽を楽しみたいです。そしてまた、中断していた歌や楽器の練習も続けて、演奏技術の向上に取り組みたいと思います。

四年生では社会科の授業を担当します。ずいぶん久しぶりなので、自分自身も社会の仕組みや神奈川県のあることを学びつつ、わかりやすく子どもたちに伝えていけたら良いと思っています。知識を詰め込むだけにならず、一緒に考えを深め、それぞれの気づきを発表する、知的に楽しい授業を目指します。

今年もよろしくお願い致します。

全部ひつくるめて個性

教諭 咲間 直人

長所と短所があると聞いた時に、長所を伸ばそうとするのは当然ですが、短所をどう捉えていくかが大切だと思います。短所については、改善の努力が必要であっても、決して拒絶するものではないです。単純に長所をプラス面、短所をマイナス面と捉えるのではなく、それぞれをその人が持つ、一つの面だと捉えるのが一番相応しい表現ではないでしょうか。その様な面があるのが、人として自然であり、それらは、その人だけが持つ個性です。色々な個性があるからこそ、互いに学び成長することができます。そして、それらが合わさって段々とそのクラスが持つ唯一の個性に変化していきます。

今年は小学三年生を見させていただきました。実は聖ステパノ学園に奉職してから一番多く担当する学年でもあります。今年も子ども達は学校生活の中で、楽しい思い出と共に、失敗することもきっとあると思います。その際に、間違っていることは間違っていると理解してもらうことは必要ですが、「何をしたか」よりも「何をしたかったのか」という気持ちをお大切に子ども達と向き合いたいと思います。何より、子ども達が安心して生活できるように、そして沢山の笑顔に包まれるように全力を尽くしてまいります。

今年度もよろしくお願いします。

非常勤講師 笹尾 和子

今年度も音楽と一緒に勉強します。よろしくお願いします。勉強道具を持って音楽室に来てください。音楽の授業は音楽室で授業します。私は、みなさんを待っています。

先月の事です。久し振りに音楽会しようとして電話をもらいました。相手は高校生の時に会った友達です。私たちはその後別々の大学に進みました。私も友達も自分の大学の友達をさそって又その友達が友達をさそって・・・イモヅル式にグループが出来ました。独奏をしたり二重唱をしたり交代で伴奏をしていました。でも就職や家族の都合でグループは集まらなくなっていました。15年経ちました。ですが偶然にグループの二人が同じ音楽会を聴きに來ていて「集合しよう」と話が決まったそうです。10月に集まると決めました。楽譜を送ってもらい練習を始めました。とってもウキウキしてピアノを弾いています。学校に通っていると友達ができます。その友達と離れてしまう事もありますが、時間が経過しても当時のままの気持ちで再会できます。楽しい気持ちがあるまま残って、すぐに安心して話ができます。同じ時間を過ごした友達はすぐに仲良しに戻ることが出来ます。学校は楽しい事ばかりではないけれど楽しい友達と出会えるところです。

『新しい歩み』

事務長 佐藤 紀明

昨年度は統括教頭と小六の学級担任と二つの仕事をさせて頂きました。想像以上に大変で皆様にご迷惑をかけたりましたが、とても貴重な経験をする事ができました。この経験はこれから活かし役立てたいと思っています。平成元年から私の教師生活が始まりました。沢山の子ども達との出会いと関わりの中で、沢山のことを学び、「教師で良かった」と実感しています。三月末に、待望の新しい体育館が完成して、最高の教育環境になりました。この環境に相応しい教育内容を展開していくことがこれからの学園の歩む道だと思っています。元号も新しくなります。本校の卒業生で、中三佐藤組であった新庄君とも一緒に仕事をすることになり、感慨深いものがあります。自分自身の仕事も今まで経験したことが全く無い仕事内容になり、務まるのか不安です。ただ、与えられた仕事に関して全力で取り組みたいと思います。やってもいないのに、「できません」という言葉は自分に逃げ道を作っているようで嫌いです。苦戦し、迷惑をかけることが多くなると思います。それでも今までの教師としての経験を活かし、現場にいたからこそ違う角度で学校を見て、支えていきたいと思っています。全てが新しくなる中で自分と学園の『新しい歩み』、頑張ります。

目標

事務次長 佐藤 雅美

「目標」は書く事で「計画」となり、「計画」は日々の実践とおして「現実」になります。私がなにより大切にしたいと思っていますことは「日々の実践」です。

今年度は書き記しておくことや、それを目にする機会を増やすことで、実践につなげていきたいと思っています。

自分の中でしつくりこなかった部分を軌道修正してきて「今年度の抱負」的なことがばんやりしていました。ふと「あ、これ」と、テーマが決まりました。

有名な言葉ですが

「心が変われば 態度が変わる
態度が変われば 行動が変わる
行動が変われば 習慣が変わる
習慣が変われば 人格が変わる
人格が変われば 運命が変わる
運命が変われば 人生が変わる」



心を変えるのが一番難しいと思う私なので、行動・習慣を変えて、目標を達成し、よりよい二〇一九年度をつかみたいと思いますので、今年度もどうぞよろしく願います。

「俺は一生」

教諭 澤邊 嵩介



2年生の頃からずっと関わってきた新4年生とも3年目の関わりになります。今までのクラスの子とも達や自分を思い返すと、「桃栗三年柿八年」という言葉が頭に浮かびました。「桃栗三年柿八年」という言葉は、芽が出て実を結ぶまでに、桃と栗は三年、柿は八年かかることから、何事も成し遂げるまでには相応の年月が必要だというたとえです。

教員という仕事をしていると、どうしても目の前の子どもにすぐ変わってほしい、という気持ちを抱いてしまいがちです。しかし、そんなときほど思いとどまって、1年前、2年前と思い返します。すると、「算数の宿題を真面目にやるようになったな」、「礼拝に立派に参加するようになったな」といった風に、着実な成長の過程に気付くことができます。子ども達も、立派に実を結ぶために相応の年月をかけて力を蓄えていることを感じます。

さて、「桃栗三年柿八年」には地域によつて、様々なパターンの続きがあります。「柚子は九年の花盛り」「林檎にこにこ二十五年」等々。色々な続きがありますが、私は明治時代の劇作家の武者小路実篤さんが考えた「だるまは九年 俺は一生」という表現が好きです。自分自身が実るには一生かかる、その思いを忘れずに新年度を励んでいこうと思います。

抱負

養護教諭 清水 花葉

私は昨年度2学期より、養護教諭として勤務させていただいております。昨年9月3日の2学期始業礼拝の日、私は初めて聖ステパノ学園の子ども達と出会い、その日は忘れられない日となりました。

『子ども達が笑顔で学校に通っている。』

その当たり前に見える光景は私にとって衝撃で、自然と涙が溢れました。それからしばらくは子ども達の生き生きとした様子を見ては涙ぐむという日々を過ごしていました。が、良くも悪くも慣れとは必ずあるもので、次第に日々の忙しさに追われ、あの時感じた衝撃も薄れていきました。

私は、以前は小児病棟に勤務しており、そこには長期の闘病のため学校に行きたくても行けない子ども達がたくさんいました。最後までその希望が叶わなかった子どもや、退院できても、長期間学校を離れたことで友達との距離が開き、元のようにには学校に戻れない子どももいました。

子どもが健康で笑顔で学校に通うこと。これは決して当たり前のことではありません。私はいつまでも2学期始業礼拝で流した涙を忘れず、養護教諭として聖ステパノ学園の子ども達の心身の健康をサポートしていく決意です。

新年度の抱負

庶務 新庄 主来

はじめまして、私は新庄主来と申します。名前を見てお気づきの方も多くいらっしゃると思いますが、私は牧師の子どもとして生まれ、今日までイエス様のみことばを信じて歩んで参りました。

昨年の暮れ、神学校卒業後の進路を主に祈り求めておりましたところ、小川学園長よりご連絡を頂き思い掛けず私の母校である聖ステパノ学園で働かせて頂けることになりました。

聖書の中に、
「あなたの道を主にゆだねよ。」

主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。」というみことばがありますが、まさしく主の恵みと心から感謝しています。

弱く、小さな者ですが、

「私は私を強くしてくださる方によって

どんなことでもできるのです。」

というイエス様のみことばの力を信じ、聖ステパノ学園において少しでも受けた恵みに報いる働きができればと願っております。

心を込めて

教諭 高桑 恵

今年度は、一年生を担当させていただくことになりました。可愛い盛りの子ども達と過ごせることが今からとても楽しみです。

一年生の子ども達は、慣れ親しんだ『幼稚園』から全く異なる『小学校』という環境に移り、戸惑うことでしょう。まずは、子ども達が毎日楽しく「学校に行きたい！」と思えるような居心地の良い環境作りが第一優先と考えています。そして、子ども達が持っている力を最大限に発揮できるように、ポジティブな言葉かけを多くするようにします。ひとり一人が自分らしくのびのびと生活でき、お友だちの良いところに気付き、お互いを認め合うことができるクラスを目指したいです。

さらに、自己研鑽に励み、私自身が頭を柔軟にして子ども達の話をよく聞き、気持ちに寄り添えるように配慮して参ります。

今年度は、図工も担当します。臨床美術の資格を活かして、子ども達と一緒に活動そのものを私自身も楽しみたいと考えています。また、保護者の方々ともお話を密にしていこう心掛けたいと思います。一日一日を大切にして心を込めてがんばります。

どうぞ、よろしくお願い致します。

新年度の取り組み方

中学校教頭 高橋 謙二

新年度も中学校の教頭という立場で働かせて頂く事となりました。どうぞご協力お願い致します。昨年度は、中学二年生の担任として精一杯、職を務めさせて頂きましたが、教頭として、他学年を支えることができなく大変申し訳なく思っていました。新年度は、じっくりと三学全年体にかかわっていきます。

また、昨年度当初には、私の至らないことから保護者の方にご迷惑をおかけ致しました。新年度はそのような事がないように私自身、慎重に物事を考え進めていきます。中学校をまとめる私としては、ありきたりな言葉になりますが子どもたちが楽しく安心して学校生活を送ることを最優先として考えていきます。そして、中学生には昨今の様々なニュースのような社会的な規範の逸脱行動がないように、社会生活の生き方の基礎をつけることを目標にします。そのためには、子どもたちに『想像力』をしっかり身につけさせる必要があります。子どもたちには、日々の学校生活の中の自身の言動・行動がこの後どのようなことになるのか、よく想像させて考えさせる場をなるべく多くつくり、問いかけ一緒に生活をしていきたいと思えます。そして、保護者の方々、一人ひとりと、人として深くかわれればと考えております。



新年度の抱負

中学校教務主任 田中 圭史

新しい体育館棟が完成し、新たな環境で過ごせることをとても嬉しく思います。子どもたちの学習環境がより良いものとなるとともに、学習活動もより良いものを目指し、二つの側面からの取り組みを考えています。

まず、学習指導要領が新しくなり、担当教科としての理科をもう一度見直しています。観察・実験を意識して取り入れたり、日常の現象と学習内容を関連づけたりするなど、すでに言われてきていることですが、今の子ども達に合うような教材や授業の進め方を心がけたいと思います。様々な特性をもつ子がいる中で、配慮をしながら双方向に学習が進められるようにと考えています。暗記する理科から考え表現する理科へと、子どもたちの歩みに合わせて導いていきたいと考えています。

もう一つは、教員間の研修です。毎年、先生方が様々な研修に参加していますが、それらを共有することを意識し、一人一人の学びが全体の学びへととなり、有機的に組み合わせつついくことができるようにしたいと考えています。教員の研修が子どもたちへ還元されるものであるようにしたいと思います。

今年の大きな目標を見据えて一步一步進んでいきたいと思っています。今年もよろしくお願ひします。

新年度の抱負

校務 飛田 裕二

毎日、子ども達と接していると、楽しい気持ちになり、あいさつの大切さをより一層分かります。今年も皆様に最後に「いつもありがとうございます。」と御声を掛けて頂きました。本当にありがとうございます。無事に子供たちを守ることができました。これからも教職員一同、安全を守るように努力していきたいと思っています。

大磯小の卒業生の女の子から「これで卒業します。今までありがとうございますでした。」と言われました。私があいさつをしてきたことは間違いなかったと思いました。これからもあいさつをして気持ち良く過ごせるようにしていきたいと思っています。素直に表現できるのは子どもの時までかな？と思う時もあります。が、大人になると忘れてしまうものを子どもに教わりながら、日々を暮らしていこうと思います。唯我独尊をモットーに我が道を歩いて行こうと思いますが、ステパノの輪は大切にしたいと思います。みんな仲良く子ども達に教えているように、大きい器を持ち子供たちやみんなに優しく接して、今年一年無事に子供たちを守り抜くことができるように努力して、頑張りたいと思います。皆様の協力もよろしく御願ひ致します。

新体育館棟

教諭 中村 弘之

新しい体育館棟が与えられました。昨年度できた小学校校舎と合わせ、気持ちよい環境が整備されました。幸せなことです。

古い建物が取り壊されたのが去年の夏休み。創立以来の思い出が詰まった校舎が、怪獣のようなパワーシヤベルにバキバキ壊されていく姿を見るのは偲びないものでした。あつという間に更地になると、「こんなに狭かったっけ」と思ったものです。整地は大変でした。太く育った木の根の撤去を工務店の人たちが汗だくで行っていました。土台は見事なコンクリート打ちで仕上げられました。何よりも大切な基礎工事です。子どもたちと見学させていただきました。上棟式が済み、建物の外観ができると、中の工事は見えにくくなりました。塗装や電気関係の業者さんが次々と仕事をされ、建物がいつでも稼働できる状態になってきました。時折窓から中をのぞくと手作りの棚ができていたり、職員室の机が整然と入っていたりして、古い建物のことは忘れて楽しめばかりが募りました。ただの材料だった木材や釘などが見事に組み合わせられ、こんな建物になるのです。そして、竣工式で建物に命が吹き込まれました。子どもたちの教育の場として今後何十年も、ぼろぼろになるまで働いてくれるでしょう。

今年度の抱負

教諭 難波 寛

今年度は日本全体が変化の多い年となりそうです。5月には改元を控え、さらに来年度は東京オリンピックが開催されます。この近くでもいくつかの競技が行うことが予定されているそうです。それに伴うインフラの整備などが急ピッチで行われて様子を近くでご覧になっている方も多いのではないのでしょうか。一方、私は昨年色々なことに挑戦し続けていきたいという事をこの場で書きました。実際にその通り自分なりにチャレンジしたことがありました。その中で感じたのは、今のままで満足せずに積極的により良く変化させていくのだという気持ちを持つことの大切さです。勿論、中には失敗することもありましたが、そこから学ぶ事が多くありとてもよい勉強となりました。学ぶ姿勢を続けることが、学びを豊かな物にしてくれたのです。なので、今年度も挑戦を合言葉に今年度を積極的に過ごしていきたいと思っています。

まだまだ至らぬところがあり皆さんにご心配・ご迷惑をお掛けすることが多々あると思いますが、私自身は常に謙虚な姿勢で臨みたいと思っています。私の学びが、すこしでも皆さんの手助けになるように努力を重ねていきたいと思っています。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

中学校国語の学習

教諭 西海 多恵子

今年度、一番力を入れたいことは、担当教科国語の学習の充実です。

①「自分の字が好き」

筆圧、字の大きさ、点画、バランスに注目して、書字に自信のない生徒をサポート、個性を潰さず見やすい字の習得を目指します。

②「読書は一生の喜び」

新図書館完成を機に、独自の読書ノートを創って、読書習慣を身につけさせたいと思います。

③「音読名人へ一歩ずつ」

姿勢、発声、発音など、個々の癖に気付かせて改善し、聞きやすい音読の練習をします。

④「伝わる表現力―書くこと、話すこと、見せること」

感想、説明、意見など、目的によって、さまざまなスタイルの表現力を育てたいと思います。他教科との連携で、画像や映像にも表現の幅を広げてみます。

⑤「日本語を大切に、そして楽しむ」

理解し、使える語彙を増やす。美しい言葉、古くから伝わる日本語に気づき、新しく日常に入り込んでくる新社会語とうまく付き合う術を探りたいと思います。

今までの学習形態を再構築、充実させます。

新年度の抱負

中学校教務副主任 二挺木 健太

昨年度末、私が担任として受け持った三年前の卒業生達が高校を卒業し、進路先が決まったと報告しに足を運んでくれました。進学、就職と、みな夢や目標を持ってそれぞれの進路へ進んで行きましたが、一人の卒業生は小さい頃からの夢を叶え、就職を決めました。その卒業生との会話で「夢を叶えるために大切なことは？」と聞くと、「夢を追い続けること」と答えました。そこに行きつくまでたくさん努力と苦労もあったと思いますが、夢を追いかけた結果だと思っています。そんな立派な先輩たちが過ごしたステパノに、今度は新たな夢や目標を持った生徒たちが入学します。今年度は中学校一年生担任という重責を担わせて頂きます。日々の生活や授業を通じて少しでも一人一人の夢の実現に向けて力になってあげられればと良いと思っています。

そして生徒たちがステパノで過ごした日々を振り返った時に、楽しく、充実した日々だったと思えるよう、日々、子ども達と共に成長し、歩んでいきたいです。



新年度の抱負

非常勤講師 能條 貴大

毎年、この時期を迎えると、一年間の抱負を考えることになります。昨年の抱負は達成できたのか？さらにその前は？そして、実際の達成度はどうだったか。アメリカには、抱負を立てた人のほとんどが達成できなかったという統計があるそうです。その理由の一つとして、自分にとってハードルの高い抱負を掲げてしまうことにあります。そこで、私は日常の中で役に立つような、達成感のある抱負を立てようと思います。

「抱負」とは、心に抱いた計画や決意のことを指すようです。昨年は四字熟語を抱負にあげましたが、少々漠然とした内容でした。今年度は、より具体的に「先を見据えて動く」ということを目標に生活していきたいと思えます。昨年は、一つ一つ眼の前のことをクリアしていくことに精一杯で、余裕を持つことが難しかったように思います。今年度は、ゆったりと先を見据えて行動することで、常にゆとりを持って生活することを心掛けたいです。

また、忙しい一年間が始まりますが、充実した楽しい一年間になるよう努力してまいります。

新年度の抱負

小学校教頭 長谷川 誠子

3年前に建築された小学校の校舎に続き、3月末には体育館棟が完成しました。

職員室や図書室、音楽室などの移動のため、3月は今までになく、慌ただしい日々となりましたが、荷物が少しずつ整えられてくると、新しい場所でのスタートを実感しました。

待ちに待った広い体育館は、子どもたちが伸び伸びと運動が出来る素晴らしいものとなりました。また、音楽室、図書室も新しく作られ、学びの環境がさらに整えられました。

新学期がスタートし、体育館棟に足を踏み入れる子どもたちの姿が目に見えます。子どもたちの表情はきつと笑顔で溢れることになるでしょう。

また、このように環境が整えられることは、私たち教員にとっても、本当に嬉しいことであります。しかし、私たちは素晴らしい環境を与えられたことをただ喜ぶだけでなく、より良い環境の中でいかに子どもたちを成長させていくかをしっかりと考え、進めていかなければなりません。校舎や体育館など形あるものは、時が経てば消えてしまいますが、そこで培われた学びや経験、そして思い出は子どもたちの中に確実に残るのです。子どもたちにとってより良いものが残る一年になるよう努めてまいります。今年度も宜しくお願い致します。

楽しくぎやかに

非常勤講師 伴 茉莉子

気温の揺らぎに翻弄されていますが、少しずつ春が見えてきました。木々の蕾に寄ると、花を咲かせようとする力強さを感じます。今年も聖ステパノ学園で教育の一端を預からせていただくことになり、小さな芽吹きに励まされながら新年度を迎えています。

書写の授業は八年目をむかえ、受け持つ間もない頃は小学生だった人達が中学を卒業するほどの時間が経ちました。書写は「嫌い」という気持ちひとつで、身体が固くなり筆が思うように動かなくなります。字を書くということは、上手くいかなくなるときに、それがありありと見えてしまうからです。思うようにならなかつた時、踏みとどまって冷静になることが重要です。次はこうすればいい形になりそうだと思える忍耐力を身に付けるため「嫌い」の種は蒔くまいという一心で授業を行ってまいりました。個々の苦手な気持ちや作品がうまくいかない難しさと向き合いながら、今年度も最後の授業まで一緒に楽しく、にぎやかに書き続けたいと思います。

また今年はクラスに関わることになりました。授業以外の時間を子ども達と共有できる喜びと緊張感を持って一年間過ごしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

新しい図書室

学校図書館司書 平野 朋子

体育館棟二階の音楽室隣に、小中学校の新しい図書室が出来ました。春休みに引越しをして、小学校は旧職員室横にあった図書室から、中学校は中一教室隣の図書室から、それぞれ本を運び、一つの図書室になりました。引越しの時には、先生方や中学生が力を合わせて下さり、本の入った重いダンボールを合計150箱以上も運んで下さいました。無事に書架に本を並べることができたのも、皆さんの働きのおかげです。ありがとうございます。

新しい書架は、奥行きや高さ、移動可能な棚板などの希望を聞いていただき、大型本も分類通りにピツタリと収めることができました。窓際には書見台も作っていただき、全ての木の香りと温もり溢れる空間になっています。今年度は、新しい場所で小中学校の本が一つになった新しい図書室の始まりです。教室から遠くなってしまうけれど、それでも行きたいと思ってもらえるように、ちよつと寄ってみようと思ってもらえるように、皆さんの意見を聞きながら、工夫していききたいと思っています。今年度も、よろしくお願い致します。

「新年度の抱負」

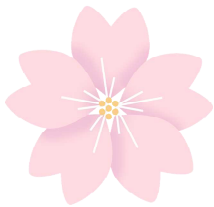
庶務 松崎 由香

ご入学、ご進級おめでとうございます。そして、体育館・職員室棟の完成とお祝いが重なり、新たな場所で新年度を迎えることにうれしく思います。

私は、先生方とは異なる事務の仕事をしています。主に外部から届く文書関係の受付等をしていきます。また今年度から「海の見えるホール」の受付業務を引き継ぐ事となりました。その他にも新しい取り組みもあり、新入生の皆さんと同じく不安な気持ちもあります。早く業務を覚えて効率よく行っていきたいと思います。

沢山の子ども達との出会いも、毎年楽しみにしています。ステパノっ子ならではの、恵まれた環境の中、新しい体験や経験が出来る事は、とてもうらやましく思います。私も、皆さんに負けないように、ステップアップして行きたいと思います。

全ての皆さんにスムーズに対応出来るように、心掛けていきます。今年もよろしくお願い致します。



聖書を生きたい

教諭 宮崎 幹子

以前、このようなお話をお聴きしたことがあります。澤田美喜先生はブラジルに聖ステパノ農場をつくる時、主教にチャプレンの派遣を要請しました。そのとき、口だけで神様の言葉を語るチャプレンでなく、聖ステパノ農場の子どもたちと一緒に汗を流し大地を耕してくれるチャプレンを派遣してくれるようお願いをしたそうです。

私はこの話に大変感銘を受け、神様を信じる人間として口だけでなく、自分の行いをもって信仰をあらわす人間になりたいと思います。続けてきました。

今年、私は中学校の聖書を担当することになりましたが、口で信仰をあらわしていくことも大切にしながら、それだけにとどまらず、子どもたちと学習や諸活動と一緒に笑い、喜びも悲しみも分かち合える存在になりたいと心から願っています。

聖書というキリスト教学校にとって、とても大切な科目を担うこと、そして、現在の教育改革のなかで目玉となっている小学校英語を担当することには緊張も感じています。その科目を教えることができることに誇りも感じています。一年間、どうかよろしくお願い申し上げます。

牛歩に少しムチ打って

顧問 宮本 光春

短い活動時間を紡いで成果に導くこと！が役割だと思っていますが、当初から与えてもらいながらの活動だったと感じています。

学園での第一歩を思い出します。駐車場から移動中の私に、一人の児童が微笑みながら「こんにちは」と挨拶をくれました。

可愛い姿に緊張が解けるのを感じながらアトリエを訪ねると中学生7名、小学生7名が待機していてくれました。挨拶と今後の進め方について教示頂こうと思つての登校でしたが、「茅ヶ崎から陶芸の先生が来てくれたので教えていただきますよ」との先生の言葉。

部活は初日から作陶本番となりました。

以来、月曜の正味1時間ほど生徒と向き合つてきましたが、振り返るとほっこりする体験が幾つもあります。

一例ですが卒業までの3年間、帰り際に「きょうも楽しかったです」と声を掛け続けてくれた生徒がいました。純真な心に出会う度、先生方の熱い眼差しが学園を包んでいること実感しました。私も学園で過ごす時間の重さを自覚しながら、牛歩に力を込めていきたいと思っています。今年度は仲良しのおしゃべりに気持ち傾いてしまう生徒達にも、真剣に取り組んだ時の成果が、より大きいことに気付かせてあげたいと思っています。

新しい革袋

スクールカウンセラー 山口 滋美

ステパノ学園に新しい体育館が出来上がりました。外壁がパステルグリーンステパノカラーに塗られたかと思うと、次の日には足場が外されと、毎日出勤するたびにその姿を変える様に驚きを感じつつ、3年前に完成した新しい小学校校舎と並び立つ姿を目にしたとき、「新しいは新しい革袋に」という言葉が、ふと心のどこから聞こえてきました。

「は何だっけ？」と調べてみて驚きました。

それは『新約聖書』マルコによる福音書2章第21、22節の「だれも、織りたての布から布切れを取つて、古い服に継ぎ当てたりはしない。そんなことをすれば、新しい布切れが古い服を引き裂き、破れはいつそうひどくなる。また、だれも、新しいぶどう酒をふるい革袋に入れたりしない。そんなことをすれば、ぶどう酒は革袋を破り、ぶどう酒も革袋もだめになる。新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ。」による「新しいぶどう酒は新しい革袋に盛れ」という言葉だったのです。不勉強な私はそうとは知らなかったのですが、この言葉が自然と浮かんできたことがとても不思議でした。

この教えを胸に、ことしも一日一日を大切に過ごしたいと思います。よろしくお願い致します。

子どものそばで 子どもと共に

教諭 米原 佑樹

六年前、ステパノでの一年目は新小一の副担任から始まりました。私も子どもも、互いに学校のことがわからず、一緒に右往左往しながらいろいろなことに取り組みました。

そして今年度、初めて中学校へ異動となり、新中一の副担任を務めさせて頂くことになりました。六年前に新小一で副担任をした学年です。再び彼らと新しい学校生活を始められることには、不思議な縁を感じます。そして更に言えば、新中二は私が初めて担任をした学年、新中三は私が初めて卒業させた学年と、それぞれに思い出があります。

もちろん当時はいなかった子どもたちもたくさんいますし、彼らのクラスとしてのアイデンティティも成長に伴って変化しています。しかし、そうしたちよつとした繋がりと導きによってモチベーションが上がるのは人間の性だと思いますし、このような特別な想いで中学校のスタートを切れることを、私は心より幸運に思っています。

中学校の英語はどんなことをしようか。膨らむイメージとそのための準備は重ねていまるでしょう。子どもが楽しく多くの学びができる授業を、子どもたちと共に作りあげていきたいと思っています。

今年度の抱負

小学校教務主任 和田 好江

ご入学・ご進級おめでとうございます。初めましての子ども達、お馴染みの子ども達、そして、たくさん先生のたちと、活き活きとした一年を一緒に創っていきましょう。

まず、今年度は第6学年主任の重責を担当させて頂いていただくことになりました。久しぶりの学級経営ですが初心に返る気持ちで子ども達と向き合っていきたいと思います。

さて、三月、小学校は第60回卒業生を送り出し、平成は30年経ち日本国は新年号時代に。学校では新築の体育館棟での生活、ことに体育科の私にとっては、広くなった新体育館で授業や部活動を行える新しい時代の始まりです。15年ほど前から、小学校の体育専科の務めを任せていただき、微力ながら、運動を通して育つ子ども達を見つめて参りました。小さなグラウンドと小さな体育館という環境の中でいかに子ども達が楽しんで運動できるのか、様々な工夫を凝らしてきましたが、工夫では補えない施設環境が整えられましたことは、深い感謝の気持ち以外はございません。過日の竣工式では小さな体育館での日々を思い出しながら新体育館を眺め、胸が熱くなる思いでした。

この一年間、一日一瞬を大切に、精一杯努力して参ります。宜しくお願いいたします。





春光うらかな季節を迎え、S.Aも新たな年度がスタートしました。新役員から皆様に一言ご挨拶申し上げます。

【中学校代表】

一年間よろしく願います。☆大船在住☆カラーの花を株分けしました。初夏に咲くのを楽しみに育てています。

【中学校代表】

先生方や保護者のみなさんと一緒に子どもたちの成長をサポートできたうれしいです。☆鎌倉市在住☆鎌倉図書館で小さい子向けにおはなしボランティアをしています。

【小学校代表】

子どもの成長が嬉しく感謝です。この気持ちを大切に一年間頑張ります。☆平塚在住 ☆教会でオルガン・聖歌隊。家では親子でクイーンを熱唱。

【書記】

先生方・職員の皆様への感謝と敬意を込め、自身も学びの機会を頂く気持ちで実りある時間にしたいと思います。☆大磯町在住☆美術館巡りとヨガが趣味です。

【書記】

息子の成長を温かく見守って下さる先生、皆

様方に感謝の気持ちを込めて一年間務めさせて頂きます。☆大磯在住☆読書が趣味です。

【書記】

少しでも皆様の学園生活のお役に立てるよう楽しく務めさせていただきたいと思っています。☆藤沢市在住☆今年はベランダ菜園に挑戦します。

【書記】

息子の笑顔を見る度に、ステパノ学園に通わせていただけて本当に良かったと思っています。微力ながら一年間頑張らせていただきます。☆只今平塚、横浜市の二重生活中☆アンティークな物が好きです。

【会計】

兄妹ふたりがイキイキと学園で過ごせていることに感謝しております。S.Aのお仕事を通して、学園のお役に立てればと思っています。よろしくお願いいたします。☆大磯町在住☆また、ピアノを習いたいです。

【会計】

学校への感謝の気持ちを込めて、微力ですが少しでもお役に立てるよう一年間頑張りたいと思っています。☆藤沢市在住☆舞台やコンサートに行く事が好きです。

「S.Aの部屋」は本年度、二人でスタートしました。



一年間、どうぞよろしく願います。

STEPHEN'S NEWS

【表彰】

- 日本漢字能力検定 6級 小5 H・K
 - 実用英語技能検定 4級 中1 S・G
 - 第1回 小田原ジュニア体操競技大会
とび箱 第1位・マット 第2位 小4 R・H
 - 特別優秀賞 卓球部 中3 K・H
- ※二〇一八年度の学年での掲載です。

【編集後記】

新年度が始まりました。今年は新しいメンバーとともに、新しい校舎でスタートします。入学礼拝式・始業礼拝では希望に胸を膨らませた子ども達が、たくさん笑顔を見せてくれました。私たち教職員も一緒に笑顔を作り出せるよう心を新たに励んでまいります。学校の様子をお伝えするステパノだよりを、今年度もよろしく願います。(K)

代表者 学園長 小川 正夫

発行者 ステパノ学園小学校・中学校

〒255-0003 神奈川県中郡大磯町大磯868

TEL 0463-611298

FAX 0463-6119739

http://www.stephen-oiso.ed.jp

二〇一九年四月一二日(金)発行 第231号